令和７年度　野田市郷土博物館及び野田市市民会館
指定管理者管理運営状況調書

担当課　生涯学習課

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価	担当課評価	特記事項
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	サービス向上のための取組状況	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る経費の収支見込について	B	B	
	②経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際して、地元業者へ配慮すること	地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	人員配置について	B	B	

総合所見

指定管理者から提出された業務報告書及び業務計画書の内容を全て確認した。

また、10 月 1 日課長及び係長が施設を確認したほか、毎月定期的に文化財係長と担当係員が施設を訪問し、指定管理者から聞き取りを行い、仕様書の水準に基づき適正な管理運営がされていることを確認した。

博物館の入館者数は年度当初は前年度比で減少していたが、企画展やギャラリートークなどのイベント実施に影響して後半の入館者数は伸びている。市民会館の入館者数は年間を通して前年度より伸びている。フィルムコミッション対応としてドラマや映画の撮影受入れ、コスプレイベントや記念写真撮影での使用、和室での展示企画の開催によるものと思われる。

また、子どもたちを対象にした郷土愛を育む事業を多数展開し、有益な学習機会があった。

施設の管理状況については、軽微なものは指定管理者で対応している。また、市民会館床下にアライグマが営巣した形跡があった際は、害獣調査を実施するなど適切な管理運営を行っている。

以上のことから、事業においては業務計画どおり実施しており、施設の効用を発揮できるよう努力していると考える。

予算執行状況についてはおおむね予定どおりである。
職員については合計 15 名おり、うち 9 名が市内在住者であり、市民雇用にも寄与している。
役務、委託や物品調達等においては地元業者に配慮を行っていることがうかがわれ、今後も継続してもらいたい。
郷土博物館及び市民会館が、国登録有形文化財に登録されている建物であることを考慮すると、一般的な建物と比較しても利用には様々な制限があるが、今後も工夫しながら事業を実施してもらいたい。